

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（京都市老人保養センター）

1 施設の管理運営

【管理業務】

- ・受付窓口業務（入館受付、使用料徴収等）
- ・施設の維持管理等（清掃、水質管理、部屋施錠・開錠、遺失・拾得物の管理等）

【サービス向上の主な取組】

- ・公式ホームページの開設、センターパンフレットの作成、施設だよりの定期発行
- ・週1回の休所日廃止
- ・利用者満足度調査の実施、ご意見箱の設置
- ・職員研修の実施 など

2 事業実施内容

- 4月、5月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉所
- 6月 施設の一部再開（浴場のみ）
- 7月 施設再開に向けての臨時運営委員会
- 8月 施設再開に向けての臨時運営委員会
- 9月 事業一部再開（囲碁・将棋・麻雀・卓球）
- 10月 困りごと相談会「運転免許証自主返納相談窓口」（山科警察署交通課）
- 12月 ゆず湯（イベント風呂）
- 1月 交通安全啓発活動（山科警察署交通課）
- 2月～健康体操教室開催（計18回）
- 3月 手づくり作品発表会（館内掲示板）
新規事業（ペタンク）

（参考）自主事業内容

世代間交流の促進や、高齢者の生きがいをづくり、介護予防など目的をもった自主事業の取組み

3 サービス提供状況

所長 1名
副所長 1名
他職員 5名 計7名

4 市内中小企業への発注に対する考え方

地元市内企業の有効活用の観点から、発注品については市内企業を優先し、ISO9001の規格に基づき、「サービス品質」「適正な価格」「企業の姿勢」を考慮し、最適な発注先を選定した。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 利用者数

29,400 人

(2) 施設稼働率

100.0 %

（営業日数294日）閉所期間：令和2年4月1日～5月31日（緊急事態宣言）

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

委託料	28,000,000
利用料金	3,141,800
その他	0
収入計	31,141,800

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	16,990,313
事業費	1,657,993
委託費	3,669,650
小額修繕費	332,750
その他	9,760,255
支出計	32,410,961

(光熱水費)

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- ◆施設利用者アンケート
【方法】施設、職員の対応等について直接配布
【設問数】7問
【回答数】51枚
- ◆運営向上委員会開催

(2) 利用者満足度把握の結果

- ◆施設利用者アンケート
*職員対応：非常に良い53%、良い39%、普通8%、悪い0%、空白0%
*コロナ対策：非常に良い49%、良い43%、普通8%、悪い0%、空白0%
*清掃：非常に良い41%、良い35%、普通24%、悪い0%、空白0%
*設備：大変満足47%、満足37%、普通10%、不満足6%、空白0%
*施設の雰囲気：大変満足41%、満足37%、普通20%、不満足2%、空白0%
*またの利用：したい96%、わからない1%、したくない0%、空白2%
*利用者住所：醍醐地区88% 桃山地区8% その他地区4% 空白0%

(3) 意見等への主な対応状況

- ・コロナ対策として
- 1. 手指消毒用のスプレーポンプ、スタンドの設置
- 2. 非接触型体温計の購入
- 3. 将棋用のプラスチック駒、ゴム製の将棋盤・囲碁用のゴム製の碁盤の購入、設置。
- ・新規事業としてベタンク開始。

7 その他特記事項

(1)

- 広報活動
- ・秋の交通安全週間に伴う啓発活動（山科警察署交通課）
- ・春の全国交通安全運動ポスター持参（山科警察署交通課）

(2)

- 施設環境整備
- ・消防計画（変更）届出書提出
- ・通信カラオケ機材の点検
- ・男女風呂、脱衣室、浴室換気扇及び高所壁面カビ取り
- ・玄関前ポーチ及び駐車場内「スケーパー禁止」の看板設置（京都市環境政策局適正処理施設部）
- ・施設内外 芝刈り・除草・薬剤散布・枯葉処理・高中木剪定
- ・建物外壁面劣化箇所確認
- ・玄関前タイル交換

8 評価（指定管理者自己評価）

指定管理者7年目（2期目）となり、初年度より取り組んでいる週1回の休所日の廃止、ホームページやリーフレットなどの積極的な広報活動を継続し、利用者の声を反映させる環境整備に努めた。新型コロナウイルスの影響もあり、休所している期間も長く、また利用者数に関して、浴場以外の事業を曜日に分け、1日の入館者数を抑える等の対応で、例年に比べて大幅に減少した。その中でも、新規事業として、ペタンクなどを始めたほか、山科警察署と連携し、運転免許証の自主返納の場を設けるなど、地域との連携も図ることができ、利用者からも高評価を得ることができている。また、新型コロナウイルスの対策として、アルコール消毒や非接触型体温計の設置等の感染予防対策を強化した。

自主事業は昨年同様、世代間交流、生きがいづくりをテーマに計画以上の事業を実施することができ、高齢者の主体的な健康づくり、及び地域とのつながりなどを推進することで設置目的の達成を図った。また、職員研修では、障がい者差別解消及び高齢者の平等利用の取組みなどを確認した。今年度は指定管理者である国際ライフパートナーが管理運営する施設の全体研修をweb開催（zoom）した。

その他利用者の声を収集する場として、市民参加型の運営向上委員会を実施し、意見の収集及び反映に努めた。維持管理業務については、市と密に連携を図り、緊急修繕対応など計画的に実施できた。休館期間は長かったが、サービス向上や環境整備、修繕等の対策を計画的に行うことができ、次年度以降も本施設の指定管理者としてより良い管理運営を継続します。